

Takasaki's agriculture is booming! Supporting the hard working farmers

In the rich natural environment of Takasaki City, production of various agricultural and livestock products is thriving in each region. The city subsidizes costs such as for product development, equipment purchases, and leaflet creation to support the hard working farmers. In 2017, the product store "TAKASAKI JIMAN" was opened in a large commercial facility at the west exit of Takasaki Station. It was created as a way to secure new distribution routes for producers and to raise consumer awareness of excellent products.



Theme 03



— The power of Takasaki Brand. —

広がる高崎ブランド

高崎産の農畜産物や加工品をもっと多くの人たちに知ってもらおうと、市は平成25年から、プロモーション活動に力を入れています。全国に、そして世界にメイド・イン・タカサキの「うんまいもん」が広がりをを見せています。

高崎の農業が熱い! 農家の6次産業化を応援

榛名・箕郷地域の梅、群馬地域の国府野菜や国分になじん、倉淵地域のはんでえ米など、自然豊かな高崎市では地域ごとに多彩な農畜産物の生産が盛んです。市内には、こうした生産品の6次産業化やブランド化を目指す、頑張る生産者が多くいます。市では2011年から、高崎産の農畜産物を地元や首都圏などで広く消費してもらう「地産多消費推進事業」を継続。その一環として補助金制度を用意し、6次産業化を目指す市内の農家を応援しています。この制度では、商品開発や事業拡大にお



【農業者を支援する制度】

高崎市では、農畜産業のさらなる活性化を目指し、新たな取り組みに挑戦する生産者を応援するための補助金制度を設けています。

6次産業化推進事業補助金

生産から加工・流通・販売までの総合的な取り組みに対して交付される補助金。商品開発費用や宣伝費用などにも活用できる

ブランド商品開発事業補助金

地域に適した新品種の導入や新商品開発のために導入する設備、PR活動に対して交付される補助金

高崎農業の将来を考える研究会補助金

高崎市の農業の将来について調査・研究活動を行う団体に対して交付される補助金

地元農畜産物消費拡大事業補助金

地元の農畜産物やその加工品の消費拡大を目的に、物産展やマルシェなどのイベントに出店する団体に交付される補助金

市内産農畜産物販売拡大奨励金

首都圏などにおける消費拡大を図るため、高崎産の農畜産物を取り扱う小売店に対して交付される奨励金

ける設備購入費、施設の建設・改修費、商品パッケージやリーフレット制作といった販売促進費などを支援。ある果樹園では、ドライフルーツ製造用に低温熟成乾燥機を購入したり、果物を主役にしたジェラートショップを開店したりと、補助金が、新たな加工品の製造・店舗販売の実現を後押ししています。

2017年には、市と高崎観光協会が駅前の大型商業施設内に物産店「高崎じまん」を出店。生産者の新たな流通ルートの確保と同時に、市民に優れた地元の産品を知ってもらうきっかけにもなっています。



広がる高崎ブランド